

福島市水道だより

SuRiKaMi

すりかみ

Instagram
フォローお願いします



福島市水道 通水 100 周年
未来につなげる水のバトン

今号の
MENU

- かんたんレシピ
- 水道のお仕事調査隊
- 水道通水100周年特集記事
- 水道事業予算について
- 漏水調査にご協力をお願いします
- 漏水調査にご協力を!!

水道のお仕事調査隊

その10

令和7年度
新メンバー
募集中



冷たくて
おいしかった!

今回調査をしてくれたのは、メンバーの佳澄さん、咲さん、美月さん、瑛太さん、奏太さんの5名!今回は市役所本庁舎の西隣にオープンした、市民センターの中にある冷水器を調査しました。令和7年4月1日水道通水100周年を迎えた福島市。この冷水器は、自然の恵みである水を守り、おいしい水を届け続けるためのシンボルとして、上下水道局が設置したんだって!冷水器のデザインに隠れているキャラクターを見てつけられたよ!

経営企画課
TEL 024(535)1120
「ももりんふォータークラス」
に関するお問い合わせ



水道局オリジナルマイボトル

この冷水器はマイボトルに水が汲みこめるので、環境負荷の低減にも繋がるんだって。給水スポットの普及活動をしているリフィルくしまさんに、環境とマイボトルについて教えてもらったよ。海に捨てられているプラスチックは地球全体でなんと800万トン!プラスチックごみを減らすには、繰り返し使えるマイボトルが役立つことを学んだよ。おいしい水はきれいな環境から!未来の水と環境のためにできることが、私たちにもあるんだ

漏水調査にご協力を!!

上下水道局では、水資源の有効活用を図るため、今年度も水道管(道路から水道メーターまでの漏水調査)を行います。この調査では、水道メーター付近で音を聴くために、上下水道局が委託した調査員(株式会社サンスイ福島営業所)がお客さまの宅地内に立ち入らせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、調査員は上下水道局発行の身分証明書を携帯しています。

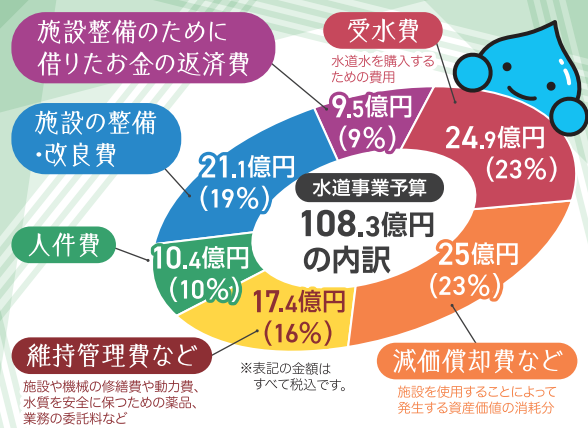
お問い合わせ先
配水課
TEL 024(535)1122



漏水修理は、
上下水道局の指定事業者へ

水道工事を行う際は、指定事業者であることを確認の上、依頼してください。

ホームページで
確認できます



令和7年度 水道事業予算

令和7年度は、良質な水道水を安定してお届けするため、防災対策の強化に重点を置きました。上下水道一体で、救急医療機関に供給する管路の耐震化事業に着手します。近年では、料金収入の減少や工事費の高騰など、事業運営に努めます。令和7年度 福島市 水道事業 会計予算



かんたん レシピ Let's cook!

福島市の郷土料理
いかにんじん

今までの
レシピ集はこちら



福島県
100年
フード

作り方

- ①スルメ(足以外)を長さ4~5cm、幅3~4mm程度に細切りし、器に入れて酒大さじ3をかけ、戻しておく(数時間程度)。
- ②ニンジンの皮を剥き、長さ4~5cm、幅4~5mm程度に千切りする。スルメのぼうがやや細くなる。
- ③耐熱性のあるチャック付きポリ袋に、スルメを先に入れ、その後にニンジンを入れる。酒は捨てずに取っておく。
- ④スルメを戻した後の酒、みりん、しょうゆを鍋に入れ、弱火で沸騰するまで温めてアルコールを飛ばす。
- ⑤温まった調味料を③の袋に注ぐ。空気を抜いて封をし、30分ほど待つ。
- ⑥箸でニンジンとスルメを混ぜて、さらに半日ほど置いたら出来上がり。

材料(4人×2食分)

- ニンジン..... 450g~500g (中サイズ3本程度)
- スルメ..... 50g
- 純米酒..... 大さじ3
- 本みりん..... 大さじ2
- しょうゆ..... 大さじ4

武田 都 (たださと)

- 野菜ソムリエ
- アロマセラピーインストラクター

ブログは
こちら



水道に関するお問い合わせ・相談
(平日8時30分~17時15分)

■ 転入・転出・料金関係について
水道料金お客さまセンター TEL:024-526-0735

漏水についてのお問い合わせ

■ 平日(8時30分~17時15分)配水課 TEL:024-535-1125
■ 平日夜間(17時15分~翌8時30分)及び土・日・祝日
水道料金お客さまセンター〈当直室〉 TEL:024-526-0736

【編集・発行】福島市上下水道局/福島市五老内町3番1号 経営企画課 TEL:024-535-1120

詳しくは、福島市上下水道局ホームページをご覧ください。

福島市上下水道局

検索



水道料金
について



※紙面の無断転載を禁じます。
※バックナンバーが
必要な方は経営企画課まで
ご連絡ください。



アンケートご協力をお願いします

「SuRiKaMi」へのご意見を聞かせてください。

こちらからお願いします

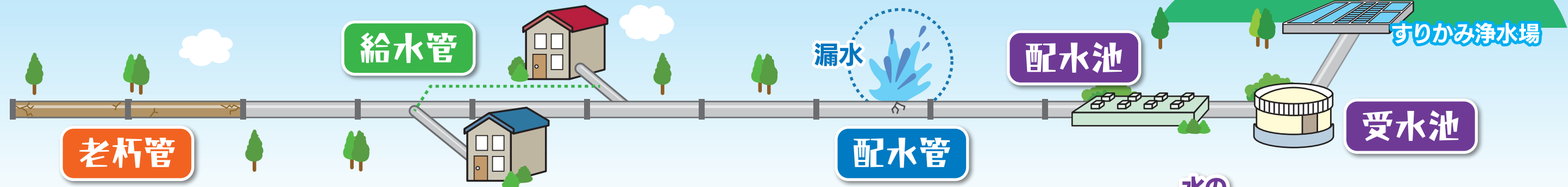
ご協力いただいた方の中から抽選で、
ペットボトル「ふくしまの水」プレゼント!



知っていますか？水道のしごと

きれいな水をいつでも安定的に供給するために、たくさんの職員が関わっています。

そこで今回は、上下水道局職員へのインタビュー。普段はあまり知ることができない仕事内容と、水道にかかる思いについて聞きました。



水道管取替の必要性を チェック!

Earthquake resistance

耐震化



水道整備課計画管理係の村上さんが担当しているのは、老朽化した水道管の更新です。「現在、主に更新している水道管の多くは昭和40年代のもの。老朽化して漏水が起これば、断水や道路陥没の危険があることから、漏水する前に交換していく必要があります。私たちの部署では、この更新の計画を立てています。」福島市は福島盆地西縁

水道整備課 村上さん



断層帯が走っており、震度7クラスの地震が起こることも想定されています。そこで、平成25年から基幹管路（基幹となる重要な配水管）の耐震化を進めてきました。水道通水100周年にあたる令和7年度に耐震適合率（震度7でも耐震適合性のある水道管の割合）100%の目標が達成される見込みとなりました。この割合は、全国平均を大きく上回っています。「次世代に残る仕事をしたい」と誇りとやりがいを感じています」と村上さん。災害に強い水道が整備されているのは、私たちにとっても心強いですね。

住宅等の水道設備を チェック!

Water supply equipment

給水装置



給水課 加藤さん



大きな配水管からそれぞれの家へつながる給水管。この給水管から蛇口までを「給水装置」と呼びます。給水課給水装置係の加藤智幸さんは、この給水装置の審査を行う仕事。「新しく給水装置を取り付けたい工事業者と、図面を元に給水管の配管や栓数などを打ち合わせします。市民の皆さんがこれからも安全に、安心して水を使うためには、業者

の皆さんにルールを守って工事していただくことが大切。時代によってルールも変わってくるので、適切な工事ができるように細かく協議しています。複数人で業務にあたっているため、誤った情報を業者の皆さんに提供しないよう、職員同士での情報共有の徹底を心掛けています。東日本大震災の際に水道の復旧にあたった経験から、能登半島地震の際は珠洲市へ出向き、支援活動を実施。また、日頃から災害への備えも行なっているそうです。「迅速に応急給水できるように、必要な機材を毎月点検、整備しています。」

水漏れの場所を チェック!

Leakage Investigation

漏水調査



配水課 加藤さん



「水道管の漏水は水が無駄になるだけでなく、道路陥没などの事故につながることもあります」と言うのは、配水課漏水防止対策係の加藤豊さん。「日頃、『音聴棒』という地面の中の音を聞く道具などを使って、地下の水漏れがないかを調査しています。交通量の多い場所は周囲の音が影響しないよう、夜に調査する場合もあります。ペテラ

ン調査員になると、音の大きさや高低で、水漏れ位置までの距離、量、水道管の材質まで分かるそう。まさにプロフェッショナルの仕事です。ある程度場所の目星を付けたら、ヘッドホンが付いた調査機器で正確な場所を特定し、工事をする流れとなります。「晴れているのに地面に水たまりができていたりなどの様子を見つけたら、漏水の可能性があるので、水道局にご連絡ください。また、第一止水栓より宅地側での漏水はお客さまご自身で福島市指定給水装置工事業者に修繕を依頼してください。」

水の 安全・安心を チェック!

Facility and water quality management

施設・水質管理



水道施設 管理センター 齋藤さん



水道施設の維持管理、修繕を行う「水道施設管理センター」で、水質管理を担当している齋藤良平さん。「市民の皆さんへ安全で良質な水道水を供給するために、水道法で定められている検査と、水質管理上必要と判断した項目について水質試験を行っている。市民の方にご協力いただき、それぞれの配水池から供給されるエリアの末端に位

置する23カ所の蛇口から出る水を毎日検査。色、濁り、消毒の残留効果（塩素が残っているかどうか）を調べています。そのほか、義務付けられているさまざまな検査を担当。「摺上川ダムの水質は安定していますが、何万人もの方が使っている水の安全性に関わる仕事なので、大きな使命感を持って仕事にあたりています」。福島市は今年で水道通水100年を迎えます。「次の100年へ良質な水を渡せるように、今後も摺上川ダム周辺の環境保全にご協力ください。」